

和 気 品
合 魄 位

高島市立マキノ中学校

学校だより



文責：校長 清水

2025年スタート～始業式より～

始業式の朝、朝日の輝きと大きな虹がマキノ中学校からみられ、3学期がスタートしました。今学期の始業式は、防寒対策等から、オンラインで行いました。

「これからの新しい時代を切り拓く」をテーマに、脳を研究されている方の言葉を参考にして話を進めました。

「まずは、今ある課題(今できること)を丁寧にやること、これをする事で脳が活性化され、自分の可能性を広げることにつながる」ということを伝えました。

次に、あるタレントさんや地域の方の言葉をヒントに、心のもち方や考え方について話しました。「これから先のことを予測することは難しいが、多様な見方や考え方があるので、1つのことにこだわりすぎず、バランス感覚を大事にして、柔軟に物事を捉え、チャレンジ精神を大事にしてほしい、チャレンジする中で、上手いいかないこともあるが、だめだと落ち込みすぎず、そこから教訓を得て、次のステップに生かしていく、これが成長につながる。」という内容を、例を交えながら伝えました。

生徒指導担当からは、立ち幅跳びと走り幅跳びを例に挙げ、準備することの大切さを話しました。

ところで、かつての教え子と話をしていると、立派に成長をし、教えられることが多々あります。その方の手や表情、話し方をみると、努力しながら歩み、考えながら、挑戦しながら、人生を切り拓いてこられたのだと推察しています。

今のマキノ中学生も、自分の可能性を信じ、チャレンジ精神を大事にして成長してほしいと願っています。私たち職員一同、生徒の成長のため、尽力していきたいと心を新たにしております。

3 学 期 の 目 標

【第1学年～よかった点と反省点をいかして～】

3学期は、2学期のよかった点や反省点を意識して生活していきたいです。具体的に2学期のよかったところは、文化祭や芋掘りなどの行事で、1組と2組で一致団結できたことです。反省点は、休み時間と授業でメリハリをつけること、人を大切にできなかったことです。

3学期は学年最後の学期なので、今までの反省点を直し、全員が気持ちよく次の学年に上げられるようにしたいです。

また、2年生になると、新1年生が入ってきて、私たちが先輩という立場になるので、よき手本となれるよう行動を見直していきたいです。そして、勉強面でも生活面でもよりよくなるよう心がけていきたいです。

【第2学年～あたり前にできるように～】

僕たちのクラスの目標は「ベル始ベル着(授業のチャイムで座席につき授業を受けること)」です。クラスの改善点を話し合った結果、多く挙げられていましたので、この目標にしました。僕自身や周りの人たちをみても、できていないことがあります。4月からは、最高学年になり新1年生が入ってきますので、まずはこの改善点を直し、手本となれるように頑張りたいです。

個人的な目標として、生徒会役員の一員として、4月からの最高学年として、忘れ物などを失くし、「あたり前のことを、あたり前にしていきたい」です。部活動においても、残り少ない期間を有意義に使えるようにしていきたいです。

【第3学年～残り少ない中学校生活を～】

私たち3年生は、自分の将来について考え、志望先もほぼ決まりました。今、それぞれの進路に向かって、それぞれが日々努力しています。

これから高校生になり、大人に一步近づくので、胸を張って社会に出られるように普段の生活も気を付けたいです。

また、3学期は中学校生活最後の学期になるので、3年間の復習や苦手なところの見直し等をして、受験勉強に力を入れたいです。また、周りの仲間とお互いに声をかけて支え合い、教え合ったり助け合ったりしていきたいです。そして、自分を成長させるために行動し、自分の殻を破り、残り少ない中学校生活を楽しみたいです。

オンラインにより生徒総会

新生徒会執行部が司会進行をして、この1月から4月までの生徒会活動についての総会をオンラインで行いました。

まず、生徒会長が新生徒会スローガン「爆笑～個性が爆発 笑顔がmany～」を

提案しました。スローガンには、3年生が中心となって活動してきた「一人ひとりの笑顔



オンラインによる生徒総会より

を大事にする」精神を引き継ぎ、「みんな一人ひとりの個性をいかし、輝き、マキノ中学校全体が笑顔あふれるようにしたい」という願いを込めていると説明しました。次に、生活・環境委員会、広報・給食委員会、図書委員会、保健委員会・協議委員会の活動計画について、各委員長が提案しました。その委員会も日常での取組を大事

にしていきたいと述べていました。その後、各提案について採決し、すべての承認が得られました。

今後も、3年生がリードしてきた生徒会活動を継続し、より発展していくために、マキノ中学生のよさである協力し助け合う姿を発揮してほしいと期待しています。

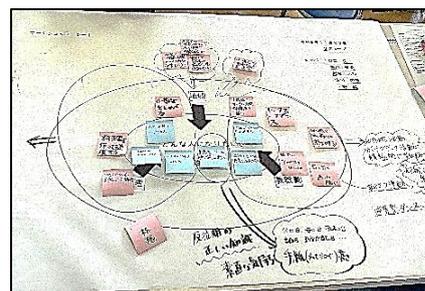
拡大学校運営協議会より

昨年の12月23日に、学校運営協議会委員の方、保護者代表の方、教職員、生徒会執行部員で、「どんな人になりたいか」をテーマにして、6グループに分かれて話し合いました。



拡大学校運営協議会より

さまざまな意見が出ましたが、総



あるグループの模造紙より

じていうと「自分も人も大切にしたい」という意見が多く出ました。そのために、「挨拶をする」「人とのふれあいを大事にする活動に参加する」「人の意見を聞く」、また「チャレンジする」等が大切ではないかという意見が出ていました。さらに、「どんなことでも誰かと関係し、何かの役に立っている」「一緒に頑張ってくれる人や支えてくれる人、寄り添ってくれる人がいる」等、励ましの言葉も多くなりました。いろんな立場の方と意見交流をすることで考えが深まりました。

今後、全校生徒にも「どんな人になりたいか」と問い、成長につなげていきたいと考えています。